

市議会だより



市内の大学生・高校生による議会の職場見学等
(5月24日 鹿児島純心大学・6月16日 れいめい高等学校)

令和5年第2回定例会

【主な内容】

- 主な議案
(「一般会計19億4123万1千円を補正」 その他3件の議案を議決) …………… 2
- 総括質疑並びに一般質問 …………… 4
- 委員会報告 (私たちが慎重にチェック) …………… 9



友だち
募集中



自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
ダウンロード
はこちら

発行／薩摩川内市議会
編集／広報委員会

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号
TEL 0996-23-5111 FAX 0996-23-5015

一般会計19億4123万1千円を補正

その他3件の議案を議決

令和5年第2回定例会を6月12日から7月6日までの25日間の会期で開催しました。今定例会では、令和5年度の補正予算に係る議案4件を原案可決するとともに、薩摩川内市条例の一部を改正する条例に係る議案等2件を原案可決したほか、6件の専決処分を承認し、陳情2件のうち1件を採択、1件を不採択としました。

補正予算

令和4年度

令和4年度一般会計は、第14回補正の1補正で、繰越明許費が追加されました。

第14回補正予算の概要(専決)

○繰越明許費の追加

◆蘭牟田池キャンプ場トイレ浄化槽設置事業



令和5年度

令和5年度一般会計は、第3回から第6回までの4補正において、19億4千123万1千円を追加し、総額で566億3千74万5千円となりました。

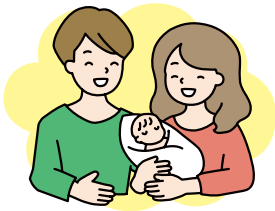
第3回・第4回補正予算の概要(専決)

- ①食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯への支援に係る予算の計上
- ②電力・ガス・食料品等の価格高騰に伴う低所得者への支援に係る予算の計上

【主な事業】

◆子育て世帯生活支援特別給付金支給事業
1億8千523万1千円

食費等の物価高騰に直面し、特に影響を受けている低所得の子育て世帯及びひとり親世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行うため、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するもの



◆価格高騰対策住民税非課税世帯臨時給付金事業
4億6千932万円

電力・ガス・食料品等の価格高騰に伴う低所得者への支援として、住民税非課税世帯に対し、給付金を支給するもの

第5回・第6回補正予算の概要

- ①特定離島ふるさとおこし推進事業の補助内示に伴う予算の計上
- ②国県補助事業の補助内示等に伴う予算の増減調整等
- ③新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策、地域経済への支援等に係る予算の計上
- ④債務負担行為の変更

【反対討論】

井上 勝博 議員

学校給食費を値上げ前に戻すなど、物価高騰から市民生活を守る積極的な予算が組まれているものの、利便性の高さとセキュリティレベルの低さが表裏一体で、個人情報漏えいの危険を伴うマイナンバーカードの普及に寄与する本補正予算には反対である。

【主な事業】

◆マルチ医療DX事業
2億1千217万4千円

市民にとって安全・安心なまちづくりを実現するため、医療・介護患者情報連携システム(EHR)、患者健康アプリ(PHR)、オンライン診療・医療Maasサービスを併せて導入する「マルチ医療DX」事業を行う事業実施団体に対し、補助金を交付するもの

◆クルーズ船おもてなし事業
100万円

5月及び10月に甌島にクルーズ船寄港が予定されており、陸路を経由しては来ないであろう富裕層や外国人へ本市の観光PRや更なる誘客を図るため、寄港時におもてなし活動を行う事業者に対して、必要な経費を補助するもの



甌島に入港したクルーズ船

◆特別教室空調設備整備事業
6千92万6千円

学校における児童生徒の学習環境の向上を図るため、理科室

等の特別教室に空調設備を設置するもの

◆LPガス料金負担軽減支援事業

4千410万円

エネルギー価格高騰の影響を受けているLPガス利用者に對して、その料金負担の軽減のため、LPガス販売事業者を通じて必要な経費を支援するもの

◆飼料費高騰対策支援事業

1億1千万円

農業経営に必要な飼料の価格高騰の影響を受けている畜産経営者の負担軽減を図るため、飼料の購入費の一部を補助するもの

◆キャッシュレス決済による消費喚起事業

5千100万円

エネルギー・食品価格等の物価高騰により多大な影響を受ける市内飲食店の利用を促進し、経済活動の回復と消費拡大を図るため、キャッシュレス決済による消費者還元キャンペーン(ポイント付与)を実施するもの

◆恐竜化石活用事業

3千982万9千円

甌ミュージアム構想事業を推進し、観光・地域振興及び交流人口の増加につなげるため、鹿島市民サービスセンター内の恐竜化石等の展示設備整備及び施設の改修工事を実施するほか、調査・研究のための集中発掘会や、展示案内等の普及・啓発活動を行うもの

◆藤本滝公園施設整備事業

1千241万4千円

近年観光客が増加しつつある藤本滝公園の観光客受入体制を整備するため、公園内の施設を整備するもの



藤本滝公園

◆養護老人ホーム甌島敬老園厨房機器整備事業

320万5千円

養護老人ホーム甌島敬老園に配置している食器消毒保管庫及び食器洗浄機を更新整備するもの

条例など

地方税法等の一部改正に伴う全国的な共通ルールに対応

「薩摩川内市条例の一部を改正する条例の制定について」は、反対討論がありました。原案のとおり可決しました。

地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、森林環境税の導入並びに軽自動車税の環境性能割及び種別割に係る賦課徴収の特例措置の見直しその他所要の規定の整備を図ろうとするもの

反対討論

井上 勝博 議員

森林や林業における地球温暖化対策として、温室効果ガス排出の原因者には負担を求めない一方で、国民には新たな森林環境税を設け、住民税に上乗せする形で負担を求めようとしているが、まずは森林吸収源対策として必要な財源を充てることができるよう、地球温暖化対策税の拡充を図るべきであるため、本条例の改正には反対である。

陳情

インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める陳情・不採択

本陳情については、賛成討論がありませんでしたが、採決の結果、不採択となりました。

賛成討論

井上 勝博 議員

消費税の実質的負担者は消費者であるが、消費税は、事業者が売上げの中から支払う税金である。インボイス制度の導入は、これまで消費税納入義務のなかった事業者が、課税事業者にならざるを得ない状況をつくり、その負担を強いるものであることから、制度実施を延期することに賛成である。

「学校における新しい生活様式を実現するための教職員定数の改善と、義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書」の提出を求める陳情・採択

本陳情については、討論はなく、採決の結果、採択されました。

委員会視察の状況

視察の調査結果を、6月定例会にて報告しました。報告内容の詳細は、議会事務局が所管するホームページや、調査報告書にてご確認いただけます。

総務文教委員会

(1)調査日

5月17日～19日

(2)調査項目

①休日部活動の地域移行について

②ICT教育の取組について

③美村PAYの取組について

【三重県松阪市】

【三重県多気郡多気町】

【三重県多気郡多気町】



三重県多気郡多気町

総括質疑並びに一般質問



令和5年第2回定例会では、6月21日・22日・23日・26日の4日間で、総括質疑並びに一般質問が行われました。

今回は議員13人の個人質問により、市政全般における市の考えを問い、政策の提案を行いました。

本コーナーの掲載内容は、各議員自らが質問と答弁を要約し、本市議会の広報委員会が体裁を整えたものになります。

●議員の顔写真の下に掲載しておりますQRコードを、スマートフォン等で読み取っていただくことで、「総括質疑並びに一般質問」の録画映像をご覧ください。

●録画映像では、本コーナーで詳しく扱えなかった「その他の質問項目」についても、ご確認ください。

問 危険廃屋等解体撤去促進事業の予算を1千565万8千円計上して

いきたいと思います。空家の解消につなげていきたく。

答 昨年度までは、空家を移住のための住宅にリフォームする等、建物に係る工事費を補助しており、平成29年度から令和4年度までに7棟が整備され、短期滞在型の宿泊施設や移住体験住宅として活用されている。今年度からは、補助対象者に個人の建物所有者や事業者も加え、補助対象に家財処分等の経費を追加する等の見直しを図っており、これらを周知・広報して空家の解消につなげていきたく。

問 地域移住促進事業の実績と今後の見込み

空家等の対策事業



動画視聴

は いるが、これまでの実績は、平成26年度から、毎年40件程度、9年間で計383件となっている。直近の実績は、令和4年度で41件・1千275万4千円、令和5年度で24件・約750万円（6月20日現在）である。

問 有機農業の取組

答 本市では、具体的な目標は設定していない。しかし、国や県は方針や計画等の目標値を設定しているため、本市としても計画目標に向け、有機農業への取組を促進していく必要があると考えている。

問 国や県は有機農業の取組面積を拡大する方向で目標を定めているが、本市における目標はどのようになっているのか。

答 本市では、具体的な目標は設定していない。しかし、国や県は方針や計画等の目標値を設定しているため、本市としても計画目標に向け、有機農業への取組を促進していく必要があると考えている。

問 歯周病検診の現状と課題は

答 40・50・60・70歳の方を対象に実施し、受診率は1割程度で、受診者の7割から8割は、精密検査が必要な状況である。課題は、受診率の伸

答 休養・こころの健康の確保や、適正な飲酒習慣の実現分野で改善している指標が多いが、生活習慣病の発症予防と重症化予防等の分野は改善されていない指標が多い。口腔分野は、40歳で進行した歯周炎を有する者の割合が増加傾向である。

問 市民の健康づくり(口腔) 薩摩川内市健康づくり計画(第2次)における現時点の評価と口腔分野の評価は



動画視聴

び悩みの他、要精密検査となった方への歯周病は全身の健康状態と密接に関係していることの周知や、かかりつけ歯科医での定期的な受診の啓発であると捉えている。

問 成人期歯科口腔保健事業の今後の取組は

答 歯周病の放置、口腔機能の衰えは全身の健康状態と深く関連する。若年期から歯、口腔の健康を維持していくことは大変重要であることから、乳幼児健診の場で、働く世代の保護者へ常に情報提供を行いたい。青年期・壮年期の方々へも、あらゆる機会を通して、適切な歯科口腔保健情報の発信に努めていきたい。

問 薩摩川内市水道事業の現状等

答 薩摩川内市水道事業の現状等



人材確保事業の取組

問 企業等の人材を確保するための取組は

答 産業人材不足等の雇用問題への対策として、求人マッチングサイトの運営、合同企業説明会の開催、市内就職者への奨学金返還支援事業、U・I・ターン者への家賃補助等を行っている。また、広域的な取組としては、昨年5月に阿久根市、さつま町、薩摩川内市と地域経済団体等からなる薩摩国雇用創造協議会を発足した。今後は、現在の補助制度について全体的な検証を行い、方向性を議論する必要があると考えている。

問 介護保険の周辺環境
① 特別養護老人

ホームの空床状況は②介護保険利用料の受領委任払いの導入は③寝たきり等の理由でマイナンバーカードの申請・取得が困難な方への対応は

答 ① 正確には把握できていないが、毎年の待機者調べで一定数の申込は把握しており、入所については、各施設の入所検討委員会で調整を図っている。② 利用者の初回支払額が減るものの、事業者への支払いが遅れるため、事業者の意見や他自治体の動向も踏まえて調査・研究させていた

だ。③ 御家族の方が写真を撮り、オンライン申請をするほか、出張申請サポートを利用いただ

その他の質問項目

- 新型コロナウイルス感染症に関して
- ・ 本市の感染状況
- ・ 感染者がとるべき対応
- ・ ワクチン接種の状況



先進的なまちづくり

問 水引小・中学校をサークユラーパーク九州におけるSDGsに特化した環境学習のモデル校にできないか。

答 今後、両校の校長や、コミュニティ・スクールの学校運営協議会委員と協議して検討していきたい。

部活動の在り方

問 部活動の少ない中学校において、選択肢の多い中学校の部活動に参加できる取組について、柔軟に対応できないか。

答 生徒数が減少する中学校区を、例えば3つや4つのエリアに分けて拠点校を設定することで、同じ興味を持つ生徒が集まって部活動をして

いくような体制作りは、今後必要になると考えている。

消防団組織のこれから

問 団員数の減少から、分団内において、部内統合等を望む声があるが、現状と今後の方針は

答 消防団組織の在り方や定数の具体的な見直しについて、令和プロテクト・トークや、消防団各分団、地域の意見等を踏まえた検討を行う。今年度から来年度にかけて慎重に議論を重ね、地区コミュニティ協議会や消防後援会にも理解いただける組織の構築を図ってまいりたい。

その他の質問項目

- ① 県道43号線の道路整備状況
- ② 川内港久見崎みらいゾーン周辺の道路整備
- ③ 消防局・消防団専用のLINE機能の活用



ふるさと納税に関して

問 寄付金控除額(ふるさと納税)で他の自治体に流出する部分が増加傾向であるが、その流出防止策は

答 制度上、市民が他の自治体にふるさと納税を行うことを抑制することは困難であることから、本市のふるさと納税返礼品の魅力アップや返礼品を増やす施策等を開し、ふるさと納税による寄附額の増大を図っていく。

部活動の在り方を問う

問 費用面における保護者の負担軽減をどのように図っていくのか。

答 部活動によっては、年間2万から3万円以上の部費の負担があると考

えられる。今後、具体的な現状の把握と、学校を通じた指導を行いたい。

問 令和8年度の休日部活動の地域移行までに、人材バンクへの登録が進まなかった場合の対応は

答 今後、人材バンクへの登録を進めていく中で、その種目のバランス等を考えるときに、学校の教職員に人材バンクへ登録していただき、全体的な調整を図ることは必要だと考えている。

その他の質問項目

- ① 資金の調達・運用のあり方を問う
- ② 今後の水道の話
- ③ 不登校や長期療養の児童生徒向けにタブレット端末のさらなる活用
- ④ 災害対応DXのすすめ





第3次総合計画に向けて

問 第3次総合計画策定に向け、人口推計をどのように位置づけていくか。

答 人口減少対策は大きな政策課題であり、自然増と社会増を増やす考え方は、次期計画でも引き続き堅持していく。また、地域ごとの人口推計を踏まえることで、地域ごとの異なる現状と課題を明確化し、各地域の魅力、課題、特徴等を捉えた施策を展開する必要があると考えている。

問 学校が果たす役割は年々増加しているが、子供たちにとって安全安心な環境は確保されている必要がある。外部から

の不審者侵入に対して、どのような対策をしているか。

答 市内小中義務教育学校37校のうち14校で、管理等に機械警備を導入し、施設内への不法侵入があった場合は警備会社が出動する。また、東郷学園義務教育学校の門等を監視できるように、4箇所に防犯カメラを設置している。

防災士の役割と効果

問 防災士がいることの効果をどのように捉えているか。

答 防災士資格の取得は、広い防災知識や技術の習得につながり、防災士が災害対策のプロとして地域の防災訓練等で助言することで、さらに効果的かつ実践的な訓練の実施が見込まれる。これが地域防災力の向上につながるため、その効果は大きいと考えている。



甌島の医療・福祉・介護

問 上甌診療所再編計画の進捗状況は

答 現段階では、計画どおりに進んでいる。

問 この進捗状況を島民に対して説明し、情報発信する計画は

答 必要に応じて情報発信に努めていく。

問 甌島の医療環境をどのような形で把握しているのか。

答 事務長を通して医療従事者や地域の声を聞いており、機器整備や施設改修等につなげている。今後も解決に向けた協議や検討を重ねていく。

問 診療所の医療従事者の資質と数をどう把握し、対応しているか。

答 資質については、事務長を通して把握に努め、

数については、昨年度から補助事業を展開し、人員確保につなげている。

問 小児歯科診療の実績は

答 把握できていない。

問 歯科診療の往診や、急患への対応が上甌島と下甌島で違うのはなぜか。

答 地区の数、診療所までの距離等、診療の現状の違いが起因していると考ええる。

問 甌島の診療所は働きやすいと思える環境か。

答 葉が院外処方になり業務が軽減され、職場環境も改善されたと聞いている。

問 今後の甌島の展望について市長の思いは

答 離島振興計画等に基づき広範な政策等を継続しながら、甌島の産業振興、地域活性化を具体的に進めていきたい。

その他の質問項目

○甌島の福祉従事者支援



GIGAスクール構想

問 今後、デジタル教科書の活用が進むと、家庭学習においてタブレットの使用が考えられる。この実現には、タブレットを持ち帰る体制と、通信環境のない家庭への配慮が必要となるが、本市の対応は

答 現在、タブレットの持ち帰りができるように、市独自の貸出要綱や「持ち帰りまでの流れのマニュアル」を作成している。通信エリアの地域間格差等の課題もあることから、状況を整理し、前向きに取り組んでいく。

問 中学校における学級体制の適切な環境整備へ

問 小学校では段階的に35人学級に移行してい

るが、中学校ではまだ40人学級の段階である。特別支援を要する生徒はその数に含まないことから、実際には40人を超えている教室を持つ中学校もあるが、どのように対応したのか。

答 当該中学校については、今後視聴覚室へ教室を移転して対応する予定であり、かばん棚やエアコンの設置、床の張替え等の工事を済ませた上で学習環境を整えていく。

英語圏との交流機会を

問 中国・韓国との交流は盛んだが、英語圏の国との交流機会を子供たちに提供できないか。

答 現在、市教育委員会として英語圏との交流は行っていないが、学校・学級単位の実践事例はあることから、これらを踏まえて研究していく。

その他の質問項目

○BYODへの見解



LGBT法案に関する女性の権利確保及び教育現場の考えを問う

問 先の国会で可決したLGBT法案について、法案施行前にも関わらず不適切な行動をされる方も散見される中、女性専用トイレだけを廃止して誰でもトイレ化する動きがあるが、女性専用トイレを確保する必要性についての考えは

答 多様な性を含め、利用者への配慮を検討すべきだが、女性用・男性用として設置している現在の状況は必要と考える。

問 同じく、女性を自認する男の女湯への侵入について、自治体として明確に禁止して行くべきと思うがどうか。

答 公衆浴場は関係法令

により男女で区別した構造が規定されており、本件に係る判断は事業者によるものと考えている。

問 海外の本件先進国

では既に男性の女性専用スペースへの侵入で問題になっていることを、大半の国民が知らない状態にあると考えている。周知も必要ではないか。

答 情報収集を常に行ながら、しかるべき対応の必要があればすぐに対応する。国・県の指針等が具体的に示されないと見切り発車で進められないが、女性がお風呂等の専用スペースを安心して使えなくなるような状態は想定していない。

その他の質問項目

- ①少子化の状況と待機児童対策
- ②乳幼児の離乳食摂取時の死亡事故を受けた、保育施設における安全管理の現状



御陵下運動公園の周辺設備の充実を

問 御陵下公園運動場会館は、避難所に指定されている。階段が老朽化して滑りやすいことから、エレベーターを設置できないか。また、2階の和室に冷暖房設備を設置できないか。

答 階段部分については、これから大きな設備改修を行うことは難しく、指定管理者と現状を確認しながら対応を検討したい。冷暖房設備については、施設利用者の動向等を見ながら、その必要性を判断したい。

問 野球場周辺の水路に蓋をして道路を拡張する考えはないか。

答 既存水路の構造上、蓋板設置だけでは対応が

困難なため、運動場への進入路や周辺水路の状況等を確認しながら改良を検討していく。

放課後児童クラブの現状

問 本市では、残る児童が1人であっても、1支援につき2人の支援員を配置しておく必要がある。関連条例の改正を望むが、本市の考え方は

答 国は人員配置基準を緩和したが、市の放課後児童クラブ連絡協議会より、児童の安全を確保する見地から、従来通り堅持されるよう要望があった。また、市としても、最近の保育現場における事故に鑑み、子どもの安全確保を最優先と捉えており、現時点では条例改正は難しいと考える。

その他の質問項目

- ①残さず食べよう30・10運動の推進
- ②少子化対策と婚活



鳥獣被害対策の現状

問 鳥獣による農業の被害状況は、直近でどの程度か。

答 令和4年度の被害面積は、前年度から約4ha増加し、約22haであった。また、同年度の被害金額は、対前年度約88%で、約1千600万円であった。耕作面積の減少傾向に対して被害は拡大しており、被害増加率も高くなっている。

問 直近の捕獲頭数はどの程度か。

答 令和4年度のイノシシ捕獲頭数は、前年度から49頭減少し、2千632頭であった。また、同年度のシカ捕獲頭数は、195頭増加し、4千449頭であった。

問 猟法別狩猟者数と、その年齢構成はどのようになっているか。

答

猟法別狩猟者数		年齢別狩猟者数	
猟法	狩猟者数	年齢	狩猟者数
罾のみ	146	50歳代以下	73
猟銃のみ	54	60歳代	66
罾+罾+猟銃	2	70歳代以上	136
罾+猟銃	73	合計	275
合計	275		

※高齢化が進んでいる

問 一人が年間に捕獲した最高頭数と、その報奨金額は

答 一人ですべて32頭捕獲され、これに伴う報奨金額は345万円程度である。

問 本腰を入れた補助制度の確立等、大胆な施策は考えられないか。

答 捕獲奨励金の単価増等については、県市長会を通じて県独自の支援策ができないか、要望を続けていく。



放課後児童クラブへの諸対応

問 本市の放課後児童クラブの現状は

答 市内には現在41か所あり、令和5年4月1日現在の定員は1千549名、登録者は1千782名である。

問 放課後児童健全育成事業の開所時間に、準備時間等は加味されないのか。

答 規約に定めた時間内において、支援員が二人体制であれば、補助対象となる。

問 市独自の支援は

答 20人未満の児童クラブに対し、国の基準とは別に、1児童クラブ当たり80万円の上乗せ補助をしている。また、施設整備費についても、市独

自の基準により、一部補助をしている。

問 補助金精算が遅れる、年度初めの運営の資金繰りについての考えは

答 年額100万円以上になると見込まれる補助金については、一部概算払いで対応している。

問 放課後児童クラブの存在に対する本市の考えは

答 非常に重要な役割を担っており、様々な環境下の児童が安心安全に過ごせる生活の場の提供に、長年御尽力いただいていると考えている。また、市としても放課後児童クラブの運営を重要視しており、その支援についても引き続き連絡協議会と連携していく。

その他の質問項目
○元村新田用水路の状況



国民健康保険法第44条

問 生活保護基準以下の収入しかない世帯の方で、医療費減免の実績は

答 減免の実績はない。

問 国は、平成22年9月13日付けの通達で、生活保護基準以下の収入しかない世帯の方の減免制度を通知している。これについて、市の考えは

答 基準に該当すれば、実施していきたい。

川内原発の安全対策

問 川内原発が「火災防護対象ケーブル」の基準を満たしていないことについて、認可された設計基準に沿った工事をされていることが重大だが、市長の見解は

答 事業者は、是正措置として火災防護審査基

準に基づく設備対策を行うが、完了までは、それと同等水準の対策で対応される。市としては、引き続き、国には厳格な監視と指導を、九州電力には安全確保を最優先とした対応を求めている。

マイナンバーカード

問 返納を求める声はなかったか。

答 2名が返納された。

問 健康保険証廃止に伴いマイナンバーカードの重要性が増し、これを預かる施設等が情報漏えいを疑われる可能性も出てくるが、この対策は

答 意図的な情報漏えい等の防止策については、国の協議等を見守りたい。

その他の質問項目

- ① 指月第2公園近くの竹林への対応
- ② 自衛隊基地指令部等の地下シェルター化の背景
- ③ 自衛隊の募集事務

議員辞職に伴う議会構成の変更

令和5年7月20日から議員数が24人となったことに伴い、各種構成は次のとおりとなりました。

常任委員会構成

総務文教委員会	7人
生活福祉委員会	9人
産業建設委員会	8人

会派構成

創造薩摩川内	9人
創和会	4人
自民創志会	4人
新創会	2人
公明党	2人
令和清流会	2人
会派に属さない議員	1人

議員定数等調査特別委員会 9人 (令和5年7月24日現在)

- (委員長) 落口久光
- (副委員長) 阿久根憲造
- (委員) 福田俊一郎
- 井上勝博
- 塩田耕太郎
- 帯田裕達
- 森満裕晃
- 犬井美香
- 坂口正幸

私たちが慎重に チェック!

委員会 報告

常任委員会

各常任委員会に付託された議案の審査等を行いました。意見・要望などは次のとおりです。

総務文教委員会

委員長 坂口 健太

6月28日開催

動画視聴



(1)議案第75号 令和5年度薩摩川内市一般会計予算のうち総務文教委員会付託分

● 医療的ケア児の学校における訪問看護事業については、今後、医療的ケアが必要な児童が入学しても学校内において対応ができるよう、認定特定行為業務従事者の資格を取るなど、先を見越した対応を検討されたい。

(2)陳情第2号 「学校における新しい生活様式を実現するための教職員定数の改善と、義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書」の提出を求める陳情
慎重に審査を行い、陳情の趣旨を了とし、採択すべきものと決定しました。

(3)所管事務の調査結果

① 祁答院地域及び甕島区域における学校再編を進めるに当たっては、地元の意見を十分に聞くためにも、常に意見を聞けるような環境づくりに取り組まされたい。

② 祁答院地域における通学路において、道幅が狭く、徒歩通学をする上で、危険を伴う箇所があることから、小学校再編に合わせて当該通学路の道路改良がなされるまでの間、スクールバスを柔軟に利用できないか検討されたい。また、甕島区域のスクールバスに関しては、子育て・生活環境を踏まえた上で、有効活用できるルールづくりを検討されたい。

③ 図書の貸し出しについては、IDにより、カードレスで貸し出しができる事業を展開している自治体もあると聞いていることから、先進事例の研究に取り組みされたい。



④ パブリックコメントにおいて、これまで公表資料はコミュニティセンター等に設置されていたが、今回、設置場所の見直しが行うに至った経緯等については、地区コミュニティ協議会会長への説明機会を設けられたい。

生活福祉委員会

委員長 阿久根 憲造

6月27日開催

動画視聴



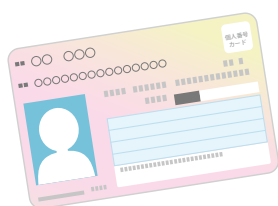
(1)議案第74号 薩摩川内市税条例の一部を改正する条例の制定について

「森林環境税については、CO2削減に資する森林環境の保全の重要性は理解できるが、個人の住民税の均等割に上乗せした税として国民に広く求めるのではなく、富裕層又は大企業等から徴収すべきである」旨の反対討論と、「森林環境税は、森林環境譲与税として、森林保護、後継者育成等のために国から都道府県・市町村へ譲与される予定となっており、しっかりと整理された条例であると理解する」旨の賛成討論がそれぞれ述べられ、採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

べられ、採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(2)議案第75号 令和5年度薩摩川内市一般会計予算のうち生活福祉委員会付託分

「今回の補正予算の最大の問題は、マイナンバーカードの普及・促進を図ろうとしている点である。マイナンバーカードには様々な問題があり、一旦立ち止まるといふ世論が大きくなるとともに、政府に対する支持も急速に下がってきている」旨の反対討論と、「マイナンバーカードについては、申請者に一生懸命寄り添いながら作成できるように手立てが講じられている。また、物価高騰対策についても様々な施設等に対して支援するための補正予算が組まれている」旨の賛成討論がそれぞれ述べられ、採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきものと決定しました。



● 川内看護専門学校の運営について、学生の確保に大変苦慮されている現状があることから他にはない特色や支援を講じるなどして、学生の更なる確保に努められたい。

(3) 所管事務の調査結果

① 防災研修センターについては、高校生及び大学生の利用者が少ない状況であるが、市内の高校生向けに普通救命講習等の受講を呼びかけることにより、消防職への関心が高まることや、地元に残ってもらうことへの期待も膨らむことから、市内の高校に協力を求めながら利用促進につながるよう検討されたい。



防災研修センター

② おくやみコーナーについては、関係課との連携を図りDXを活用したシステムの構築により、市民及び職員が更にスムーズに各種手続を行うことができるといったような仕組みづくりを検討されたい。

③ 防災マップの配付について

は、現在、自治会加入世帯への配付を計画されているが、自治会未加入者の中には危険な場所に居住されている方も想定されることから、当該未加入者への配付の在り方について検討されたい。

④ 骨粗鬆症検診については、国が受診率を15パーセントまで引き上げる目標を示しており、特に女性には大事な検診の一つであることから、引き続き受診率の向上に努められたい。

産業建設委員会

委員長 宮里 兼実

6月29日開催



(1) 陳情第1号 インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める陳情
慎重に審査し、採決を行った結果、起立者なしにより不採択とすべきものと決定しました。

(2) 所管事務の調査結果

● 主要道路の抜け道が通学路となつていような市道については、朝夕の通勤・通学時に相当地な交通量があることから、優先整備を検討されたい。

特別委員会

特別委員会において、調査を行いました。概要は次のとおりです。

川内原子力発電所 対策調査特別委員会

委員長 成川 幸太郎

川内原子力発電所の安全対策及び関連する諸問題に関する調査

6月30日開催



(1) 川内原子力発電所の運転状況について

当局から、1号機は通常運転中、2号機は第26回定期検査中であり、気体・液体廃棄物の放出量は年間放出管理目標値を下回っていること、固体廃棄物の貯蔵率は74・5%であること、使用済燃料の貯蔵率は73・4%であること、新燃料は48体を貯蔵していること、法に基づき国へ報告を要する事象等は該当がないことについて報告がありました。

また、現在行われている2号機の定期検査計画の概要について

ても説明を受けました。

(2) 川内原子力発電所1・2号機の運転期間延長について

当局から、原子力政策調査部会において、本年6月6日に、県がホームページで要請書案を掲載するとともに、UPZ内の9市町に対し、意見照会を行っていること、去る14日に開催された川内原子力発電所の運転期間延長の検証結果に関する住民説明会の内容を踏まえた上で、県の要請書案に対する意見照会について議論するとともに、原発立地自治体として、今後の対応について整理したとの説明を受けました。

その後、委員から、「部会でまとめた意見はどのような内容となつていのか」との質疑があり、当局からは、「市長がいづも述べている原子力規制委員会に対しては、厳正な審査を求め、事業者に対しては、安全な運転と説明責任があるというところが骨格で、それに付け足す内容について議論をした」との

答弁がありました。

また、委員から、「県の意見書案について、本市が意見を述べる機会があったのか」との質疑があり、当局からは、「意見書案については、専門委員会での議論において、本市に意見を求められたプロセスはなく、最終的な意見書等をもとに作成された要請書案について本市を含めた関係9市町に対して意見を今求められている」旨の答弁がありました。

● 川内原子力発電所運転期間延長の検証結果の概要等の配布方法については、自治会未加入者を含めた全戸に配布し、情報がいっかりと届くよう県に要請されたい。

各委員会開催日の下に掲載されているQRコードを読み取ることで、委員会の録画映像を確認できます。



議 決 結 果 等 一 覧 表

議案番号	件名	付託先	議決結果
議案第74号	薩摩川内市税条例の一部を改正する条例の制定について	生活福祉委員会	原案可決 (賛成多数)
議案第75号	令和5年度薩摩川内市一般会計補正予算	総務文教委員会 生活福祉委員会 産業建設委員会	原案可決 (賛成多数)
議案第76号	令和5年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算	生活福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第77号	令和5年度薩摩川内市簡易水道事業会計補正予算	生活福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第78号	令和5年度薩摩川内市一般会計補正予算	総務文教委員会	原案可決 (全会一致)

※ 議決結果欄について、「全会一致」は議長を除く出席者全員が賛成であったことを示します。

陳 情 の 処 理 状 況

陳情番号	件名	提出者	付託先	結果
陳情第1号	インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める陳情	さつま川内 民主商工会	産業建設委員会	不採択 (賛成少数)
陳情第2号	「学校における新しい生活様式を実現するための教職員定数の改善と、義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書」の提出を求める陳情	学校における 新しい生活様式を 実現する会	総務文教委員会	採択 (賛成多数)
陳情第3号	高レベル放射性廃棄物処分施設建設調査についての陳情書	ミッロー事務所	川内原子力発電所 対策調査特別委員会	閉会中の 継続審査
陳情第4号	原子力規制委員会からの基準地震動の見直しについて九州電力が対応に時間がかかっている理由の説明を求める陳情	川内原発建設 反対連絡協議会	川内原子力発電所 対策調査特別委員会	閉会中の 継続審査

意 見 書

次の意見書を可決し、関係行政庁等に提出しました。

件名	提出先
学校における新しい生活様式を実現するための教職員定数の改善と、義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

議員表彰

令和5年6月14日に開催された全国市議会議長会定期総会において、議員勤続に係る表彰状の贈呈がありました。
本市議会からは、6人の議員が表彰され、6月26日の議員全員協議会で、表彰伝達式を行いました。

【表彰議員】

- ・ 福田 俊一郎 議員
特別表彰(議員表彰25年以上)
- ・ 川添 公貴 議員
特別表彰(議員表彰20年以上)
- ・ 成川 幸太郎 議員
(議員表彰10年以上)
- ・ 下園 政喜 議員
(議員表彰10年以上)
- ・ 帯田 裕達 議員
(議員表彰10年以上)
- ・ 森満 晃 議員
(議員表彰10年以上)



《主な議会の動き》

- 4月13日 総務文教委員会
生活福祉委員会
- 5月17日 総務文教委員会行政視察
(～19日まで)
- 6月12日 本会議(初日)
- 21日 本会議(一般質問)
- 22日 本会議(一般質問)
- 23日 本会議(一般質問)
- 26日 本会議(一般質問)
- 27日 生活福祉委員会
- 28日 総務文教委員会
- 29日 産業建設委員会
- 30日 川内原子力発電所
対策調査特別委員会
- 7月6日 本会議(最終日)

第3回 定例会 予定

	日	月	火	水	木	金	土
8月	20	21	22 本会議 (初日)	23	24	25	26
	27	28	29	30	31 本会議 (一般質問)	1 本会議 (一般質問)	2
9月	3	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 常任委員会	7 常任委員会	8 常任委員会	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20 本会議	21 常任委員会 (決算)	22	23
	24	25 常任委員会 (決算)	26 常任委員会 (決算)	27	28	29	30
10月	1	2	3	4	5 本会議 (最終日)	6	7



日程は変更になることがあります。
 詳細は議会事務局にお問い合わせいただくか、
 市議会のホームページでご確認ください。
 【議会事務局】 ☎ 0996-22-8115 (内線 3010)



本会議日程



委員会日程

本会議や委員会を傍聴してみませんか

本会議

原則、どなたでも傍聴できます

傍聴席数

50席

市役所4階の傍聴席入口で、受付用紙に記入し、受付箱に入れてから、傍聴してください。

※団体でも傍聴できます。傍聴を希望される団体は、事前に議会事務局までお問い合わせください。

手続き

委員会

委員長の許可を得て、傍聴することができます

傍聴席数

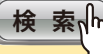
- 第1委員会室 12席
- 第2委員会室 16席
- 第3委員会室 30席

手続き

市役所3階の議会事務局で受付をしてください。
なお、傍聴希望者が定員数を超過している場合は、抽選により傍聴者を決定します。

議会のホームページで、本会議のライブ中継、録画中継を行っています

薩摩川内市議会 議会中継



スマートフォンからもご利用いただけます。

広報委員会

- | | |
|--------|-----|
| (委員長) | 山 中 |
| (副委員長) | 山 元 |
| (委員) | 落 久 |
| | 山 美 |
| | 犬 香 |
| | 坂 幸 |
| | 溝 樹 |

編集後記

日頃より議会だよりをご愛読いただきありがとうございます。
 さて、広報委員会では市民の皆様様に市政をもっと身近なものに感じていただくべく、市議会だよりの大幅な刷新に向けて広報委員会全体で取り組んでおります。
 これからも市民の代弁者として、市政の監視や政策提言に努め、議員の質問や市当局の答弁などを、市民の皆様に分かりやすく紙面で報告できるよう努めて参ります。
 残暑の折、皆さまにはどうかご自愛專一にて、お過ごしください。
 (山元 剛)

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



市議会だよりは、国産竹を10%使った紙(中越パルプ工業株式会社川内工場で製造)を使用しています。